

令和2年度 埼玉県中学校新人体育大会 兼第33回県民総合スポーツ大会中学校の部 大会要項

1. 主催 埼玉県 埼玉県教育委員会 (公財)埼玉県スポーツ協会 さいたま市教育委員会
埼玉県中学校体育連盟
2. 後援 熊谷市教育委員会
3. 主管 埼玉県中学校体育連盟ソフトテニス専門部
4. 会期 令和2年11月 5日(木)～ 8日(日)
第1日目 11月 5日(木) 女子個人戦 開場 8:15 受付開始 8:20
開会式(放送による注意事項のみ) 競技開始 9:00
表彰式(簡素化して実施)、閉会式(実施しない)
第2日目 11月 6日(金) 男子個人戦 開場 8:15 受付開始 8:20
開会式(放送による注意事項のみ) 競技開始 9:00
表彰式(簡素化して実施)、閉会式(実施しない)
第3日目 11月 7日(土) 女子団体戦 開場 8:15 受付開始 8:20
開会式(放送による注意事項のみ) 競技開始 9:00
表彰式(簡素化して実施)、閉会式(実施しない)
第4日目 11月 8日(日) 男子団体戦 開場 8:15 受付開始 8:20
開会式(放送による注意事項のみ) 競技開始 9:00
表彰式(簡素化して実施)、閉会式(実施しない)
5. 会場 開会式・競技場・表彰式・閉会式
『熊谷スポーツ文化公園内 彩の国くまがやドーム多目的運動場』
6. 参加資格 (1) 参加者は、埼玉県中学校体育連盟の中学校に在籍する生徒で、校長及び各地区専門員長が参加を認めた者とする。
(2) 団体戦は、男女とも同一校の選手6名以上8名以内(対戦の過半数を超える場合は可とする)と監督(当該校教員または部活動指導員)1名で構成する。
(3) 個人戦は、男女とも同一校の選手2名と監督(当該校教員または部活動指導員)1で構成する。
(4) 同一選手が団体戦及び個人戦を兼ねてもよい。
(5) 参加資格の特例
① 学校教育基本法134条(1条校以外)の各種学校在籍し、各地区中学校体育連盟の予選会に参加し、埼玉県中学校新人体育大会への参加資格を得た者。
② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
(ア) 埼玉県大会参加を認める条件
A) 埼玉県中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
B) 参加を希望する学校にあっては、学齢・修学年限が中学校と一致していること。
C) 運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員・部活動指導員の指導のもとに、適切に行われていること。
(イ) 埼玉県大会に参加した場合に守るべき条件
A) 大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
B) 大会参加にあたっては、校長・教員・部活動指導員が引率するとともに、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなど万全な事故対策を立てておくこと。
C) 大会に参加する経費は当該校が負担すること。

(6) 個人情報の取り扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用することに同意する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

7. 参加料

- (1) 参加登録選手一人につき、500円とする。
- (2) 参加申込以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金を行わない。

8. 引率者・監督および外部指導者

- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督になれない。
- (2) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。
- (3) 監督は1ペアまたは1チームに対し、出場校の校長・教員・部活動指導員1名であること。ただし、個人戦に2ペア以上出場する学校の場合は、出場ペア数までの監督を置くことができる。この場合も出場校の校長・教員・部活動指導員であること。

9. 競技方法

- (1) 個人戦 トーナメント
- (2) 団体戦 3ペア対抗トーナメント(4ペアエントリー)
- (3) 個人戦・団体戦ともにすべて7ゲームマッチ

10. 組合せ

- (1) **個人戦**
 - ① 常任委員に一任とする。なお、常任委員会は、全国大会、関東大会、県大会2大会(学総大会・新人兼県民大会)の個人戦の結果をポイント化し、そのポイントを参考にして組み合わせを作成する。
 - ② 作成した組み合わせは、代表者会議10月13日(火)の2日後10月15日(木)、中体連ソフトテニス専門部のホームページで発表する。

<http://www.saitama-chuutai-softtennis.com/>

※なお氏名・学校名等の文字の訂正は下記のところへ FAXで連絡してください。
※ホームページ発表の3日後(10月19日月曜日) 12時まで受付けます。

蓮田市立蓮田南中学校 松永秀則 宛 FAX 048-769-2027

(2) **団体戦**

- ① 常任委員会でベスト8までをシードし、他は抽選とする。
- ② ただし、同一地区から2校以上出場している場合は、同一ブロックに入らないように配慮する。

11. 試合球

- 使用球は公認球(白)を使用する。
- 個人戦：ナガセケンコー(ケンコー)
 - 団体戦：ルーセント(アカエム)

12. 表彰

(1) 団体戦

- ① 優勝校には、優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ② 準優勝校には、準優勝楯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ③ 第3位【2校】には、賞状を授与する。

(2) 個人戦

- ① 優勝ペアには、優勝杯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ② 準優勝ペアには、準優勝楯（持ち回り）、賞状を授与する。
- ③ 第3位ペア【2校】には、賞状を授与する。

13. その他

- (1) 本大会に参加するにあたり、必ず保護者の同意を得ていること。
- (2) 別紙「大会参加に際してのガイドライン」の規定に触れていない。
- (3) 開会式前、会場コートでの練習は一切ありません。また、開場時刻まで、会場に入るための整列待機に協力いただきます。
- (4) 駐車場などの会場周辺でのボールを使用する練習は一切できません。
- (5) くまがやドームは、役員・補助員の生徒以外の方は、開場前に入場しないでください。
- (6) 交通事情等で当日遅れる場合等は、委員長もしくは副委員長に連絡して下さい。
- (7) くまがやドームの入場の際は、危険防止の為に、到着した順に整列し、役員の指示に従って入場して下さい。
- (8) 新型コロナウイルス拡散防止のため、応援生徒並びに保護者のご来場は基本不可とします。

☆大会出場規定☆

1. 「大会参加に際してのガイドライン」に遵守し、保護者の同意を得ていること。
2. 健康観察記録表を必ず持参し、大会本部に提出すること。
3. 大会当日の受付は、必ず監督が行う。（外部コーチのある場合は、大会参加申し込み書に明記する。）
4. 選手変更は、職印のある書類で行う。
（選手変更・監督変更届・監督追加届・外部指導者変更及び登録届はHPにアップしてあるものをダウンロードしてご利用いただくと便利です）
 - 個人戦・団体戦共に書式は特にありません。
 - 当日の朝、発熱等の理由で選手変更をする場合は、とりあえず職印の無いものを提出し、後日速やかに職印のあるものを提出する。
5. 開会式に参加しない選手は、原則として出場を認めない。
 - 交通事情により遅れそうな場合は、緊急連絡先に必ず電話連絡する。
6. 規定のゼッケンを選手は背中に、監督及びコーチ・外部指導員はIDを着用すること。
7. 団体戦のベンチに入る監督（自チームNo.のもの）又は、外部指導者（通しNo.のもの）は、受付時にIDカードを受け取り、会場内では常に着用し、必ず返却すること。
8. 服装は、ユニホーム上下、シューズ、ソックス、帽子、ハチマキ等、関東大会の出場規定に準ずる。
 - ① ソックスの長さはくるぶしより上で、ハイソックスは禁止とする。
 - ② シャツの裾は必ずパンツ・スカートの中に入れる。
 - ③ 選手の磁気ネックレスなど、アクセサリーとみなせるものは着用・使用を禁止する。
 - ④ アンダーシャツ、アンダースパッツ、テーピングは単色（白・黒・ベージュ）とする。
9. ラケットのストリング（ガット）は単一色とする。（スパイラル・ハイブリッドは不可）
10. 日傘は白、グレー、シルバーその他プレーに支障をきたす色は使用しない。
11. 県名、学校名、個人名の入ったゼッケン（3段）を必ず背中につけること。無い場合は、原則として出場を認めない。
12. ベンチコーチは、奇数ゲームの後と最終ゲームの前に1分以内で行うことができる。
 - この場合、前のゲームのボールがデッドになってから次のゲームが始まるまでの1分である。
 - その他の場面などで、ブロックサインによる指示は厳禁とする。
13. ボールは、選手が拾い、拾った選手が相手に渡す。
14. 監督は当該校の教員又は部活動指導員のうち1名とする。
15. 監督は、必ずテニスシューズを履き、上着も襟付きのシャツを着用する。（Tシャツは不可）
16. 個人戦のベンチに入る監督として、2ペア以上の出場に対応するために教員の人数を追加する場合は、「追加監督届け」を当日の受付に提出すること。なお、必ずIDカードを着用すること。また、個人戦であっても、教育的配慮として「質問」はできるものとする。
17. 選手・監督・応援者とも試合中相手をやじることは厳禁とする。
 - 団体戦のベンチにおいて、アップのためにベンチを離れて立っている選手は応援に参加してはならない。立って一斉応援に参加していたら、1回目はアンパイヤーからの注意、2回目はイエローカードの提示で警告となる。
18. 選手、応援者等のマナー・生活面については、その学校の教師が責任を持って指導すること。

☆競技上の諸注意☆

1. 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規に従って行う。マッチは7ゲームとする。天候などの状況により5ゲームとする場合もある。
2. コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
3. 選手及び監督は、アンパイヤーの指示に従う。選手はマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
4. 選手及び監督は、お互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする発声をしない。
5. 審判のコールの後からポイントが決定するまでの間、発声及び拍手等による応援は禁止する。
6. マッチ中のコートにおいて
 - ① 個人戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。ただし、2ペア以上出場している学校はそれぞれのペアに対し1名の監督またはコーチのベンチ入りを認める。(教員または外部指導者による追加監督の許可を得ている場合)また、追加監督はマッチごとに交代することは認める。
 - ② 団体戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。
 - ③ ベンチは番号の若いチームが両サイドのスタンド側とする。
 - ④ マッチ中の助言は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前に所定のベンチで行うことができる。ただし、前のゲーム終了から1分以内に次のゲームを開始する態勢に入るものとする。また、身体上の手当についても選手、監督またはコーチともに認める。
7. 異議の申し立ては選手・監督またはコーチともにできない。ただし、質問する事を妨げるものではない。

8. 消毒について

- ① 選手・監督は、各コート指定された入り口で消毒をすること。
- ② ベンチの消毒は、使用する学校が消毒をする。
- ③ 審判は、試合開始まえにジャッチボード、ホイッスル、審判台(座面等)を消毒する。

9. 個人戦について

- ① トスは各マッチごとに、コート上で行う。
- ② マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。前のマッチの終了後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
- ③ 監督のベンチ入りは1マッチ1回のみとしてマッチ途中でベンチから出た場合、再びベンチに戻ることは認めない。
- ④ コートへの入場時に、監督が他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。
- ⑤ 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認められない。
- ⑥ 選手は監督の助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。

10. 団体戦について

- ① 3ペアの点取り法による対抗戦とする。2回戦以降は2点先取とし、勝敗がついた時点で省略ゲームとする。ただし、両校とも、または両校どちらかが初戦の対戦は、勝敗にかかわらず3ペアマッチを行う。
- ② 1回戦のオーダー提出は、受付終了後監督がオーダー提出所に提出する。それ以降は対戦相手が決まり次第、速やかにオーダー提出所に提出する。
- ③ マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。それ以降はオーダーの提出後、準備が整い次第マッチを開始する。試合準備が整い、5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
- ④ 大会運営上、2・3面展開等で行うこともある。この時も、監督またはコーチは1名とする。
- ⑤ 選手及び監督またはコーチは、コート内では指定されたベンチに着席する。ただし、次の試合の選手がウォーミングアップのためにベンチの横で身体を動かす程度は認める。

11. ネットに関する特別ルールについて

- くまがやドームのネットには、下に円柱のパイプがあります。パイプはネットの一部というルールですので「ノーバウンド」で当たったボールが跳ね上がって反対側に落ちた場合は「ネットイン」とおなじ扱いになります。プレーヤーの足が触れた場合「ネットタッチ」となります。ネットポストを支える角柱のパイプは地面と考えるので「アウト」となります。

☆審判について☆

1. 個人戦・団体戦共通

- 登録選手が「ジュニア審判」を取得している場合は、監督審判を免除するので、登録選手が審判を行って下さい。その際は、**必ずワッペンを左胸に付けること**
- 審判は、試合開始まえにジャッチボード、ホイッスル、審判台（座面等）を消毒する。
- 審判台にストップウォッチがあるので、必ず使用すること。
- 電子ホイッスル・イエローカードを置きます。必要な場合は使用すること。
 - ※ 45秒で1回目のホイッスルを鳴らし、1分で2回目のホイッスルを鳴らす。
 - ※ 2回目のホイッスルを鳴らしても選手がコートに入らない場合は、イエローカードを出す。

2. 個人戦について

- 各コートの第1試合の審判は、第3試合以降の試合の監督に依頼する。大会受付の時に確認する。
- 監督は、必ず審判をできるようにしておく。監督が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。その際は、代表者会議当日または大会当日に必ず本部に申し出ること。
- 1校で2ペア以上が大会に出場する場合は、監督ができるよう配慮する。
- 第2試合以降の審判は、敗者ペアの審判でベスト4決めまで行う。準決勝、決勝は、常任委員が審判を行う。

3. 団体戦について

- 監督審判で行う。副審は生徒で行う。
- 監督は、必ず審判をできるようにしておく。監督が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。その際は、代表者会議当日または大会当日に必ず本部に申し出ること。
- 第2試合以降の審判は、敗者校の審判でベスト4決めまで行う。
- 準決勝の正審は常任委員、副審は敗者監督（ジュニア審判は審判しない）で行うものとし、入れない場合は常任委員が替わって行う。
- 決勝は、正審、副審とも常任委員が行う。

4. 個人戦・団体戦共通

- 登録選手(個人戦は応援の生徒も含む)が「ジュニア審判」を取得している場合は、監督審判を免除するので、登録選手が審判を行って下さい。その際は、**必ずワッペンを左胸に付けること**
- 審判台にストップウォッチがあるので、必ず使用すること。
- 電子ホイッスル・イエローカードを置きます。必要な場合は使用すること。
 - ※ 45秒で1回目のホイッスルを鳴らし、1分で2回目のホイッスルを鳴らす。
 - ※ 2回目のホイッスルを鳴らしても選手がコートに入らない場合は、イエローカードを出す。

☆ゼッケンについて☆

背中のゼッケンを各校で別な布などで作成し、背中に四隅を止めること。すでにプリントされている文字は隠すように止め付けるものとする。学校名には「中」の文字をつけることを原則とする。

- ① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都県名、姓、学校名を記述する。都県名の「都県」はつけないものとする。
- ② ゼッケンの文字は特太ゴシックが望ましい。「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③ 都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために工夫をしてもよい。都県ごとに望ましい表記をする。
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。
- ⑤ 中学校名が、第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、《例2》のように学校所在地を付記してもよい。

【選手のゼッケン】

B5版 白の台布に黒文字で記入（特太ゴシック体が望ましい）

《例1》 埼玉県 □□市立◎◎中学校 ○○ ○○

18cm	埼玉	フォント 120	県名（県は不要）
	○ ○	フォント 200	姓（苗字）
	◎ ◎ 中	フォント 100	中学校名 （「◎◎中」「◎◎中学校」とする）
26cm			

《例2》 埼玉県 □□市立東中学校 ○○ ○○

18cm	埼玉	フォント 120	県名（県は不要）
	○ ○	フォント 200	姓（苗字）
	□ □ 東 中	フォント 100	中学校名 （「□□東中」「□□東中学校」とする）
26cm			

※文字数が多い場合は、見やすい範囲でポイント数を調整してください。

☆緊急対応について☆

ホームページ <http://www.saitama-chuutai-softtennis.com/>
に掲載されている

「危機対応マニュアル（中体連ソフトテニス専門部用）」をご覧ください。

彩の国くまがやドーム 利用について

県中体連ソフトテニス専門部

1. 所在地 〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上 300
2. 開場時間 8:15～ (指示があるまでは館内に入らないでください)

3. 交通

① 鉄道利用の場合(熊谷駅北口より)

(1) **国際十王交通バス 3 番乗り場**

【くまがやドーム行き】乗車→【くまがやドーム】下車
※くまがやドームまで徒歩2分 陸上競技場まで徒歩4分

(2) **国際十王交通バス 2 番乗り場**

【犬塚行き】乗車→【陸上競技場入口】下車
※くまがやドームまで徒歩9分

【くまがやドーム行き 熊谷駅北口発バス時刻表】

月～金		土・日・祝		
7時	25	7時	15	35 55
8時	10 35	8時	10	25 40
9時	40	9時	10	40

※詳しくは、国際十王交通ホームページ等で随時確認してください。





4. 公園内利用について

- ① 駐輪場・指定駐輪場への駐輪をお願いします。盗難防止のためにも、必ずカギをかけてください。
- ② その他・陸上競技場・補助競技場・投てき練習場等へは無断で入らないでください。また、中学生が子供用の遊具などで遊んでいることのないようにお願いします。

5. ドーム内利用について

A：ドーム内について

- ① 館内は、土足のまま入場できます。（体育館側は、上履きに履き替えることになります。しかし、県大会においては利用しませんので、体育館への入館はしないでください）
- ② トイレは東側観客席部分、及び更衣室隣にあります。
- ③ 更衣室の使用は遠慮してください。シャワーは有料となっておりますので、そちらへの入室もしないでください。

B：コートについて

- ① コートは人工芝です。テニスシューズ以外では入らないでください。
- ② 通路とコートの区切りは、ネットで仕切られています。通常のテニスコートと同じように、選手以外は人工芝部分への入場を禁止します。
- ③ コートを仕切るネット、及び支柱には寄りかからないでください。同様に、通路とコートを仕切るネットにもぶら下がったりしないでください。
- ④ 中央仕切部分のネットは通り抜けしないでください。必ず両サイドのベースライン側からの入退場とします。通路側からは、ネットの重なっている場所から入場します。
- ⑤ 館内には、横断幕等を掲げることを禁止します。
- ⑥ コート部分（人工芝部分）では飲食禁止です。
- ⑦ コートから退出する際には、マット等で砂を落として通路に出るようお願いします。

C：使用上の注意

- ① 2階スタンド部分は、大会時開放します。荷物を置く場所として使用してください。飲食をする場合はゴミの片づけを含めて汚さないようにしてください。なお、フェンス付近は応援・見学の場所になりますので、荷物等を置かないでください。
- ② その他飲食場所は、東側観客席部分及びその後方（ベンチが設置してある部分とその後方）お

よび、屋外となります。

- ③ ボールを使った練習は会場では禁止です。周辺通路及び駐車場等でも一切できません
- ④ ゴミは全て持ち帰りとなっています。館内及び公園内には捨てないようにしてください。（保護者への指導もお願いします）
- ⑤ 館内にテーブル等の持ち込みはしないでください。ドーム周囲にベンチをとるのは構いません。（入り口及び開放される窓部分は禁止）
- ⑥ 本部前通路部分には荷物等は置かないでください。試合中の生徒及び次の試合の生徒のみ立ち入り認めます。
※その他、陸上競技場等で大会が行われる場合は、別に指示をします。本部及び公園側の指示に従ってください。

D：試合進行の注意

- ① 人工芝部分には、選手・監督のみ、立ち入りを認めます。応援生徒・保護者は入らないでください。
- ② 通路（北側通路・西側通路）やスタンドネット際には、荷物を置かないようにしてください。
- ③ 本部は、西側控え室（事務所並び）となります。ただし、関係者以外の立ち入りはご遠慮ください。

④ 朝の受付場所

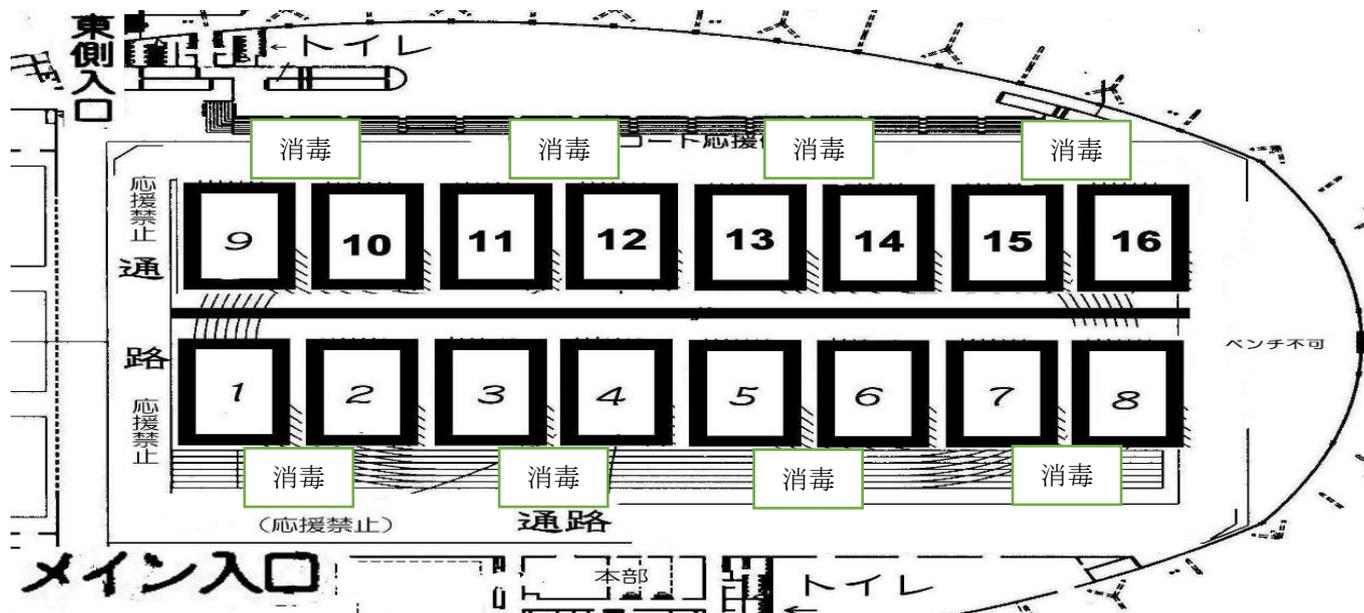
○コート内（12・13コート側）にて行います。（状況により変更の場合あり）

- ⑤ ベンチは、番号の若い方のチームが両サイド通路・スタンド側とします。中央ネット側が番号の大きい方のチームが入ります。
- ⑥ コート上での選手の水分補給について人工芝部分については、「水」のみ持ち込みは、認められます。ミネラルウォーター・お茶・氷水等に限ります。コート内ベンチ付近で飲むようにお願いします。スポーツドリンク類は、広場がベタつく可能性がありますので、人工芝内では、絶対にやめてください。今後の大会での利用に問題が出ないようにご協力をお願いします。
- ⑦ 対戦終了後の相手チームへのあいさつはやめてください。また、自己チームへのコーチングは、コート内では行わないでください。

E：その他重要なお願い

- ① 公園内でのボールを使った練習は一切できません。駐車場も同様です。特に壁打ち等は絶対に止めてください。ドームには、大会中も一般の人が自由に入ります。駐車場車中も含め貴重品の管理には各自で充分ご注意ください。
- ② 大会当日は、**整列入場**をお願いしております。両方の入口とも、役員の指示に従って、整列して入場してください。（入口付近での混乱、怪我を避けるため）

ドーム内配置図



県大会参加に関する注意事項（外部指導者向け）

本大会は埼玉県教育委員会、埼玉県中体連の諸規定・細則に則り学校長の承認をもって参加が認められ開催されます。よって義務教育学校体育の枠の中で、健全・安全に行われるようご協力をお願いいたします。また、競技は日本ソフトテニス連盟のハンドブックによりますが、その他大会要項および本部の指示に従っていただくことをあらかじめご了解ください。

1. 資格について

- 外部指導者については必ず学校長の承認を得ている方のみがベンチに入ってください。試合後に規定外の外部指導者であったことが判明した場合、学校長に連絡の上その試合を失格とする場合もあります。また、必ず外部コーチのIDカードを着用してください。ない場合は外部指導者として認められません。

※ 大会要項「8、引率者・監督および外部指導者」(2)に該当しない者

※ 埼玉県中学校体育連盟、県ソフトテニス専門部が提示する「大会参加に際してのガイドライン」を同意していること。

2. 服装等について

- 原則、監督・選手に準じます。それ以外での服装でのコート入りはご遠慮ください。また、以下のことについては教育上かたくお断りいたします。
 - ① シャツ出し
 - ② 袖まくり
 - ③ 腰パン

3. 競技について

- 試合前の乱打後「レディ」がかかってからのアドバイス、声かけは警告になります。
- 試合中のアドバイスは禁止です。
 - ※チェンジサイズ時のアドバイスのみでお願いします。
 - ※ポイントごとに声をかけることはできません。
- ベンチコーチは所定のベンチで座ったままお願いします。
- 電子機器の使用（携帯、スマートフォン、タブレット）はできません。
- ブロックサインは禁止です。試合中のアドバイスになります。疑わしい行為がある場合はベンチ入りをご遠慮いただきます。
- 試合の流れを変えるため意図的に「タイム」を取ることは禁止です。「タイム」は原則として選手から申し出ることとします。
- ベンチ入りしていない場合もコートの外からのブロックサイン、アドバイスはできません。フェンスの外からのサイドコーチも一切認められません。

4. その他

- 試合後直接本部に異議の申し立てはできません。質問がある場合も各校顧問を通してお願いします。
- その他本部からの指示に従ってください。